

第232回

物質科学セミナー

題名：過冷却液体の新たな実験法

—液滴レビテーション法の可能性と課題—

講師：正木 匡彦 氏 (芝浦工業大学)

日時：2015年9月24日(木) 16:30–17:30

場所：総合科学部 K206号室

講演要旨：

近年、高融点物質の液体および過冷却液体の実験法として様々な液滴浮遊法（液滴レビテーション法）が考案され、研究成果が蓄積されつつある。この方法は、液滴を非接触で浮遊させるため、実験における試料容器の影響を小さくすることができるが、その半面として非接触での測定精度の問題など様々な課題が指摘されている。この浮遊法の実験法や装置について紹介するとともに、その可能性や今後の方向性について述べる。

- このセミナーは5研究科共同セミナーの認定科目です。

世話人：田中晋平（内 6551）